

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 30 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 26 日 作成

事務事業名		人権(教育啓発)施策基本計画策定事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	財津幸泰	
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	塩地由梨	
	基本事業	72	人権教育啓発活動の実践			所属班	啓発教育班	(内線)	2427	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑪	
		1	3	1	8	10885				
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (19	~	21	年度)
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 様々な人権問題の解決のために、どういった内容のものにどのようにして取り組むのか、行政、学校、企業、民間団体、家庭及び地域に期待される役割を明らかにし、取り組みの方向を明確に示す計画を策定する。 【業務の流れ】 市の基本計画策定事務。市民への周知 【主な予算費目】 印刷製本費										

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)	
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	啓発チラシの作成・配布	
基本計画を4月に制定し、概要版の配布を行った。			
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	
		→ アイ	会議回数 回
		→ イ	策定委員(人権を守る審議会委員)の人数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	人権(教育啓発)施策基本計画	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	
		→ アイ	策定委員出席者(人権を守る審議会委員)のべ人数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民の人権課題、取り組む方向を明らかにする。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	
		→ アイ	計画策定の進捗率 %
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	人権を尊重する活動に取り組むようになる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	
		→ アイ	過去1年間で人権教育啓発活動に取り組んだ人の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 19 ~ 21 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 22 年度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	0	0	125	88	66	0		0
	うち指定経費		千円								
	ひら時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人		6	6	3	3			
		延べ業務時間	時間		270	30	80	30			
(B)人件費計		千円	0	1,075	119	318	119	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,075	244	406	185	0	0		
活動指標	回数		2	2	2	2					
対象指標	人		14	14	14	14					
成果指標	%		80	100	100	100					
上位成果指標	%	33.4	47.8	34.5		35					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 平成7年から16年(1995から2004年)を「人権教育のための国連10年」と定め、各国に国内行動計画を立て、旧町でもそれぞれに行動計画」を策定し、人権教育・啓発に取り組んできた。そして「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」も、議員立法により平成12年12月に制定された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 人権教育・啓発基本計画については、熊本県は平成16年3月策定、菊池市は平成19年3月策定、大津町は平成19年2月策定、菊陽町は平成18年3月策定済み。(旧合志町では、平成17年1月策定)
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 審議会委員より、関係各課との連携をとりながら進めることとの意見あり。

事務事業名	人権(教育啓発)施策基本計画策定事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	--------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 基本計画に従い、市民一人ひとりが人権課題に取り組むことは、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市が取り組み課題、方向を明らかにして、市民に周知していくことは市の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 基本計画の策定事業なので対象の見直しを行った。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 基本計画を策定し、周知することで、市民の人権意識は高め、人権問題の解決に向けて、より一層前進するものと思われる。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 人権啓発への取り組みが遅れる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はないため統廃合は出来ない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 常に啓発を行っていくことで、市民の人権意識を高めることができるため削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 市の人権施策を計画・策定するものであり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市民の人権意識の高揚と積極的な人権課題への取り組みを目的としており、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、基本計画を策定・周知することで、市民の人権意識は高まり人権課題の解決に向けより一層前進するものと思われる。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 基本計画の内容を市民にわかりやすく啓発していく必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
基本計画により様々な人権課題を市民に分かりやすくするべく、内容の検討を充分にやっていく必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)